

**2021年度 日本文化人類学会
第4回理事会 議事録**

日時：2021年12月12日（日）14：00～16：30

会場：Zoomを使用したオンライン会議

<出席者>窪田幸子、東賢太郎、飯嶋秀治、飯田卓、石井美保、岡田浩樹、
小川さやか、湖中真哉、里見龍樹、椎野若菜、中川理、名和克郎、箕曲在弘（以上、理事）
岸上伸啓（以上、監事）

<委任状提出者>亀井伸孝、川口幸大、木村周平、曾我亨、田辺明生、真島一郎、
松村圭一郎、丸山淳子、森田敦郎（以上、理事）
三尾裕子（以上、監事）

[承認事項]

1. 第3回理事会議事録（案）について承認
2. 新入会・再入会員の承認
 - ・11名の新入会員につき、業務執行理事の間で入会を承認したことを報告し、事後承認。

[報告事項]

1. 代表理事報告
 - ・WAUが東アジアウェビナーを実施予定であること、後日情報を配信することを報告。
2. 業務執行理事（庶務担当）報告
 - ・読売新聞の記者から名誉会員の中根千枝氏の記事を書くためのインタビュー取材の申込があり、業務執行理事の間で検討の上、清水展会員を紹介したことを報告。
 - ・本学会がサポートレターを提出した機関の全国共同利用・共同研究拠点認定の結果を報告。
 - ・名誉会員の川田順造氏（文化勲章）、会員の石毛直道氏（文化功労者）へ受章の祝電を送ったことを報告。中根千枝氏の逝去と弔電の送付（不達）を報告。
 - ・第30回代議員選挙の選挙人名簿確定を選挙管理委員会委員長及び庶務理事が12月6日に行ったことを報告。ジェンダーのみでなくエスニシティ等、他のバランス配慮も本学会としては重要であるとの見地から、委員長判断により代議員選挙案内へのジェンダーバランスに関する付記は次回以降へ持ち越しとしたことを報告。
 - ・WCAAが運営するオンラインジャーナル”Déjà Lu”より本学会の学会誌に掲載された論文1本の提出依頼があったことを報告。例年、奨励賞受賞論文を送付しているが、今年受賞者が2名であるため、両名とも希望するのであれば抽選で選んだ1本を送

ること、英訳は時期と負担を考え依頼しないことを報告。

- ・会費未納 4 年目会員への対応について、会費納入ないし正式な退会手続きのいずれかの手続きをとらない場合には退会処理を行うことを報告。これに向けて、12 月中に会長名のメールで会費納入依頼及び退会意思の確認をすることとした。その際、会費特例措置の案内の一文を入れることとした。

3. 業務執行理事（総務担当）報告

- ・欠席の業務執行理事（総務担当）の真島理事に代わり箕曲理事より、2021 年度学会公開シンポジウム（11 月 6 日開催）について、オンラインで 300 名以上の参加があり盛況であったことを報告。当日参加できなかった方の要望に応え、事前登録者を対象に期間限定で公開したことを報告。
- ・2022 年度学会公開シンポジウムについては中空萌会員（広島大）が企画を担当し、2022 年度科学研究費補助金「研究成果公开发表 B」の計画調書を提出したことを報告。また、澁澤民族学振興基金より 2022 年度民族学振興プロジェクト助成の採択内定通知が届いたことを報告。
- ・2021 年度人類学関連学会協議会シンポジウムが開催され、本学会より左地亮子会員が登壇したこと、今回の発表を踏まえた論考を『文化人類学』に掲載予定であることを報告。
- ・2022 年度人類学関連学会協議会シンポジウムについて、担当の日本霊長類学会より登壇者の人選依頼があり、業務執行理事の間で検討の上、金子守恵会員に依頼したことを報告。シンポジウムのテーマは『〇〇なヒト——ヒトの呼称も人それぞれ』。

4. 業務執行理事（広報担当）報告

- ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき計 13 件の JASCA-INFO 配信を行ったことを報告。うち 1 件は学会誌発送に関するもので、急を要するため業務執行理事の間で検討した上で配信したことを報告、事後承認。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：石井理事より、86 巻 2 号が製本機交換により送付が遅れたことと、86 巻 3 号の進捗について報告。欠席の川口理事に代わり飯田理事より、特集の進捗、今後の企画について報告。コロナ禍により調査が予定通りにいかず、特集企画の取り下げもあるため、特集企画を引き続き募集中であることを報告。湖中理事よりレビューの掲載状況と予定について報告。
- ・JRCA 編集委員会：東理事より、学会賞受賞記念論文（英語版）が JRCA Vol.22-1 に掲載されたことについて、筆者の上橋菜穂子会員が自身の公式 HP において知らせたことを報告。Vol.22-2 の掲載論文が揃わなかった場合、刊行が 1、2 か月遅れるか、あるいは Vol.23-1 と合併号の可能性もあることを報告。
- ・次世代育成セミナー報告：研究育成委員会委員長より報告。11 月 14 日にオンラインで開催され、80 名以上が参加したこと、発表者、コメンテーター、参加者ともにとても有意義な企画となったことを報告。

- ・男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会：椎野理事より、GEAHSSから依頼されたジェンダー比率のアンケートに回答したことを報告。12月3日に「ジェンダー、ライフ、ワークを語り合うパラレルサロン」を開催したこと、開催のためアルバイトを雇用したことを報告。
- ・倫理委員会：委員長の亀井理事の体調不良により委員の飯嶋理事が新委員長となることを報告、承認された。飯嶋理事より、第56回研究大会でアイヌ研究特別小委員会の太田委員を中心に遺骨返還問題を掲げた分科会を開催予定であることを報告。可能であれば他の発表のない時間帯で行いたいこと、具体的には次回以降の理事会で提案予定であることを報告。また、これまでの4学協会ラウンドテーブル及びアイヌ研究に関する倫理指針案の経緯を説明し、今期のうちに本学会として何らかの声明を出すことを考えているが、いくつか問題を抱えていること、表明の方法や時期は次回理事会で検討予定であることを報告。

〔審議事項〕

1. 澁澤民族学振興基金選考委員会推薦について
 - ・業務執行理事（庶務担当）の箕曲理事より、次期選考委員の業務執行理事原案が提示され、承認された。本人の内諾を得た後、基金側へ推薦書を提出することとした。
2. 名誉会員の推戴について
 - ・業務執行理事（庶務担当）の箕曲理事より、2021年度に日本文化人類学会名誉会員内規第二条第一項の条件を満たす会員1名を社員総会に推薦することが提案され、審議の結果、承認された。第二条第二項に該当する方がいれば次回理事会前までに理事各位が早めに箕曲理事と事務局へ連絡することとした。
3. 2022年度植松基金研究促進事業の募集要項と応募書類
 - ・植松東アジア研究基金管理委員会委員長の里見理事より、植松基金の募集要項と応募申請書案が提示された。募集日程を少し早めたことと、応募用紙の変更点（COVID-19が流行した場合への対応案の欄を追加）が説明され、審議の結果、承認された。
4. 学会誌発行部数削減について
 - ・業務執行理事（会計担当）の里見理事より、和文・英文学会誌の印刷部数について、会員数にあわせて削減が提案された。検討の結果、今後、和文2200部、英文1700部とすることが承認された。
5. 学会誌『文化人類学』（JJCA）オープンアクセス化にむけて（その4）
 - ・『文化人類学』編集委員の飯田理事より、前回理事会以降のJ-STAGE掲載作業の問題点と現状について報告がなされた。86巻2号と同じく3号についても同様に美巧社にテストケースとして2号と同料金で委託すること、J-STAGEへの掲載前チェックが必要なため学会側でもアルバイト費を支出することが説明され、検討の結果、承認された。

- ・最終的に委託を決定する前には相見積もりも必要との結論に達し、今後については 86 巻 3 号刊行後に改めて審議することを確認した。
6. 学会賞選考委員の交代について
 - ・学会賞選考委員会より、理事委員 1 名、理事外委員 1 名の交代が提案され、審議の結果承認された。
 7. 新たな倫理指針作成に向けた意見交換
 - ・倫理委員会委員長の飯嶋理事より、アイヌ研究に関する倫理指針作成に向け、遺骨返還問題など、日本文化人類学会として重要な問題であるという意識を学会員に開かれた形で共有するために何らかの機会を持ちたいとの説明がなされた。検討の結果、研究大会の分科会とは別の形でそのような場を設けること、開催に向け準備を進めることが承認された。
 8. 第 56 回研究大会シンポジウムについて
 - ・研究大会実施委員の中川理事より「岡正雄と現代人類学」（仮）シンポジウムの開催計画が説明され、審議の結果、承認された。
 9. 男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会主催のイベントについて
 - ・男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会委員長の椎野理事より、第 56 回研究大会でのイベント開催を企画検討中であることが説明された。研究大会以外での実施可能性も含め、プログラム委員会との調整を行い、検討を進めることとした。
 10. 研究育成委員会主催のイベントについて
 - ・研究育成委員会委員長より、研究大会において次世代支援ワーキング・グループが場を作り、若手向けのイベントを開催したいという声があることが報告された。意見交換の結果、委員会でより具体的な企画を練り、プログラム委員会と確認しながら検討を進めることとした。
 - ・第 5 回理事会日程案 2020 年 2 月 27 日（日）14 時～オンラインまたはハイブリッドを予定。

以上